



彼女たちが選んだのは料理だった。

作品紹介

難民問題で揺れている昨今、希望・絆・情熱で奮闘する女性たちの姿を追ったドキュメンタリー映画。人類史上、最大の難民危機でうまれたサクセスストーリーは、絆、希望、勇気、情熱とともに、人々が戦争による心の傷を癒していく姿を描く。



あらすじ

レバノンの難民キャンプで生まれ育ったマリアムは、希望の見えない地で自らの力でケータリングビジネスに挑む。幾度の荒波にのまれ、挫折しそうになるマリアム。しかし、同じような境遇にあるパレスチナ、シリア、イラクの難民の女性たちに助けられながら立ち直り、再びマリアムの闘志に火がつく…

映像翻訳フィールドワークについて

UNHCR難民映画祭—学校パートナーズのプログラムの一環として、明星大学国際コミュニケーション学科映像翻訳フィールドワークの学生30余名が本作品の日本語字幕制作に取り組んだ。

この作品を翻訳するにあたり、フィールドワークではレバノンの現状や難民問題の根深い背景を徹底的にリサーチ。作品のメッセージを余すことなく字幕に反映するべく、何度も検討を重ねながら訳文を磨いていった。

